＜児童数・学級編成＞

学　年	児童数			地区別児童数			ＰＴＡ会員
	男	女	計	橋　野	沢　田	砂子畑	
１　年	２	２	４	０	１	３	１
２　年	０	３	３	０	２	１	１
３　年	２	１	３	０	２	１	３
４　年	４	１	５	１	３	１	４
５　年	１	３	４	０	２	２	３
６　年	３	２	５	０	１	４	５
計	１２	１２	２４	１	１１	１２	１７

＜教職員一覧＞

	氏　　名	学　年	分掌等	年数
校　長	高　橋　昭　英			２年
副校長	和多田　　晋		総務・渉外・ＰＴＡ	３年
教　諭	中　嶋　文　紀	３・４年	教務主任・特別活動・キャリア教育	３年
教　諭	万城目　　遥	１・２年	生徒指導主事・教育相談・特別支援教育コーディネーター	４年
教　諭	伊　藤　知　基	５・６年	研究主任・学力向上・児童会活動	５年
養護教諭	川　村　優　実		保健主事・食育/給食/清掃指導・教育相談	４年
講　師	谷　澤　通　広		道徳教育推進教師・図書館教育・ボランティア教育	１年
事　務	山　口　浩　江		学校事務	３年
用務員	畠　山　善　規		学校用務	２年

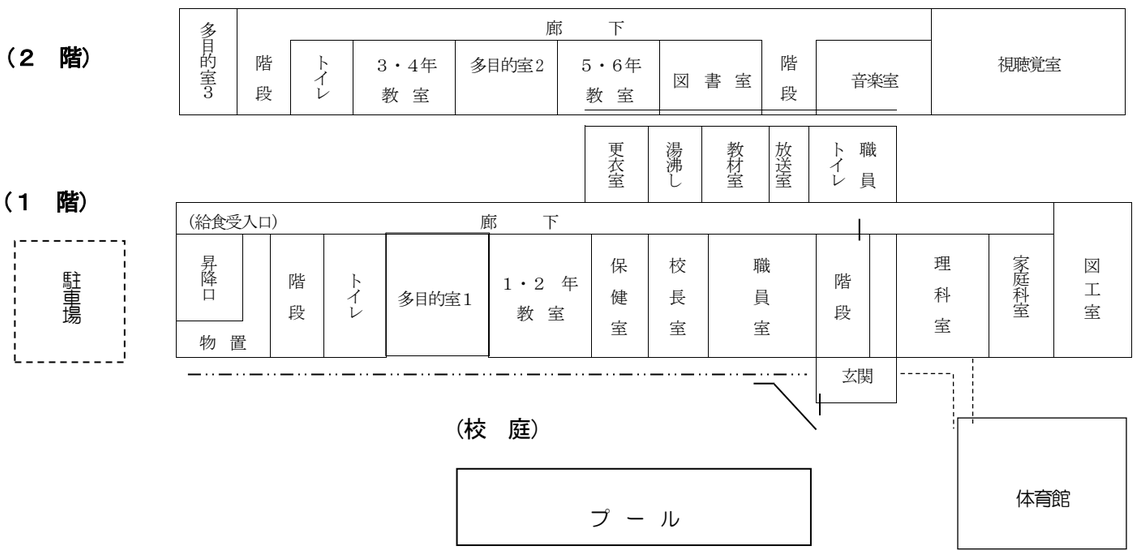
＜主な年間行事＞

４月　始業式　入学式　１年生を迎える会
　　交通安全教室　学習参観　ＰＴＡ総会
５月　児童総会　運動会　和山植樹（森林愛護少年団）
６月　修学旅行
７月　宿泊体験学習　期末面談　終業式
８月　始業式　校内水泳記録会
９月　地区陸上記録会　遠足　学習参観
１０月　栗っ子祭り（学習発表会）
１１月　連合音楽会　校内マラソン大会
　　郷土芸能発表会
１２月　東中学校区学区連携（小中交流）
　　期末面談　終業式
１月　始業式　校内なわとび大会　新入生保護者説明会
２月　学習参観　６年生を送る会
３月　修了式　卒業式



Ｒ７　運動会

＜校舎平面図＞



令和８年度

学　校　要　覧



校歌

小田島　孤舟　作詞
鷹巣　洋一　作曲

一　その名もゆかし　笛吹の
峠に雪の　消えそめて
谷間を出ずる　うぐいすの
ささなきたかし　栗林

二　梢の柿の　色づきて
小川の音も　澄みまさり
学びの窓に　影うつす
仙磐の山の　雲青し

三　剣のそばを　開きたる
とおつみおやを　かしこみて
いやをば正し　手を結び
いそしみゆかん　一筋に

釜石市立栗林小学校

〒026-0412　岩手県釜石市栗林町１６－４６
ＴＥＬ　　０１９３-２８-２５１７
ＦＡＸ　　０１９３-２８-２５０３
E-mail　　kuribayashi-es@edu-kamaishi.jp

<校　　章>



上部は、その昔、道路の開削に一生を捧げた鞭牛和尚の業績を後世に伝えることを含めた図案で、栗の葉と葉脈は、郷土「栗林」とともに、忍耐と努力を表現している。
下部は、橋野川の岩に砕け散る水が光に映える情景、四季の優しい感じを与えてくれる柿の里や、いつも見守ってくれている仙盤山を表現している。
六角形は、６つの学年を表し、自然・歴史・文化の恵みの中で、子ども達が未来に向かって限りなく発展していくことを願ったものである。

<学校の概要>

1　名　称　釜石市立栗林小学校
2　創立日　明治１０年４月１１日
3　所在地　岩手県釜石市栗林町１６－４６
4　校　地　総面積　7,913㎡
5　建物等　校　舎　1,590㎡　体育館　700㎡
　　運動場面積　3,735㎡
6　生徒数　２４名
　　学級数３　教職員数　９名
7　沿　革（抜粋）

明治 10. 4. 11　栗林小学校開校（男29名、女2名）
20. 4. 1　栗林簡易小学校と改称
23. 6. 1　栗橋尋常小学校栗林分教場となる
25. 8. 12　栗林尋常小学校として独立
34. 4. 13　栗林尋常高等小学校と改称
35. 6　校舎新築（場所を移転）
昭和 16. 4. 1　栗林国民学校と改称
22. 4. 1　栗林小学校と改称栗橋中学校栗林分校併置
23. 4. 1　栗林中学校として独立
27. 11. 1　校舎改築落成
30. 4. 1　町村合併により釜石市立栗林小学校に
44. 11. 12　火災により校舎及び書類等焼失
45. 12. 25　校舎新築落成
46. 4. 29　校章、校旗制定
49. 4. 1　併設中学校を廃止し
　　釜石市立釜石東中学校へ統合
52. 10. 16　創立百周年記念式典・祝賀会
62. 10. 22　全国保健体育優良校受賞
63. 6. 17　校舎改築竣工
63. 7. 9　創立百十周年記念式典・祝賀会
平成 元. 11. 3　全日本健康優良学校特別優秀校受賞
2. 10. 30　全日本健康教育発表大会（全国公開）
5. 2. 28　体育館改築・夜間照明施設竣工
5. 6. 19　体育館・夜間照明落成式典・祝賀会
9. 11. 16　創立百二十周年記念式典・祝賀会
13. 3. 30　パソコン教室設置
18. 2. 28　プール改修工事完了
22. 2. 5　屋上及び雨漏り工事完了
22. 4. 1　釜石市立橋野小学校と統合
23. 3. 11　東日本大震災（平成三陸大津波）
23. 12　地震による校舎内ひび割れ工事
24. 3. 9　遊具設置（ジャングルジム・滑り台）
25. 9. 27　授業実践交流会
25. 10. 13　三浦命助没後 150 年記念式典
26. 10. 3　ブラッシュアップ（道徳）授業提供
27. 3. 6　校舎大規模改修工事完了
27. 3. 31　グランド整備完了
29. 9. 28　学校公開研究会（道徳）並びに
　　ブラッシュアップ（道徳）授業提供
29. 11. 17　優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰
31. 4. 1　特別支援学級（知的）設置
令和 3. 5. 12　校庭改修工事完了
4. 4. 1　特別支援学級（情緒）設置
4. 11. 16　学校公開研究会（算数科・複式指導）
7. 3. 31　特別支援学級（知的・情緒）廃止
7. 11　栗林小学校・鵜住居小学校第１回学校統合準備委員会にて、令和９年４月１日に統合することで合意
8. 2　栗林小学校・鵜住居小学校第２回学校統合準備委員会にて、統合後の校名は「鵜住居小学校」、校歌・校章は現在の鵜住居小学校のものを引き続き使用することで合意

8　地域の概要

学区の栗橋地区は、釜石市の北西部に位置している。橋野町は平成２７年７月に世界遺産の指定を受けた橋野高炉跡を有し、多くの観光客が訪れるようになった。栗林町は鵜住居川の中流にあって鵜住居と橋野の中間に位置し、釜石市の中心部からは約15㎞の山間の地にある。三閉伊一揆の中心的指導者であった「三浦命助」生誕の地でもあり、町民の誇りとなっている。

栗林と橋野は、かつてそれぞれ独立した村であったが、明治２２年の町村制施行による合併で「栗橋村」となった。以降昭和３０年に釜石市と合併し、町区分を栗林町、橋野町として現在に至っている。栗橋地区は兼業農家が多く、主として釜石市内の会社へ通勤する家庭がほとんどであるが、かつては鍛冶職や養蚕、製紙工場などが盛んだった時代もあった。地区住民の学校に寄せる関心と愛着は強く、全国表彰された本校の健康教育をはじめとして、随所にＰＴＡが中心となった地域ぐるみの協力が継続されてきた成果がある。





令和８年度　釜石市立栗林小学校

まなびフェスト

学校教育目標
今、ここに生きる子どもたちを　心も体もたくましく

安全・安心・安定を大切にし、つなぐ・つながる学校づくり
～The Last Stage　栗林小～

※割合は肯定的評価です

よく考えやり抜く子【かしこく】

1　子どもを主語にした学びの実践を進めます。
・確かな学力育成プランの推進
・諸調査分析・児童のつまずきを活かした学習指導
・子どもが「わくわく」する学習指導
2　家庭学習の取組を推進します。
・のでから学習（得意を活かす・苦手にチャレンジする、家庭との連携）
3　生活を豊かにするための学びを進めます。
・言語活動の充実と表現力の育成(話す/聞く/読む/書く)

【指標】
○「授業や勉強の内容がよくわかる」と答える児童の割合：８０％
○「のでから学習にすすんで取り組んでいる」と答える児童の割合：８５％、保護者の割合：８５％
○「自分の考えを伝えている」と答える児童の割合：８０％

豊かな心と思いやりのある子【やさしく】

1　一人ひとりの命と安全・安心を尊重する教育を進めます。
・小規模校の良さを生かした児童との対話の重視
・いじめの未然防止・早期発見（教育相談の充実）
2　思いを伝えあえる仲間づくり、集団づくりの実践を推進します。
・児童主体の児童会活動
・お互いの良さや頑張りを認め合える学級経営
3　「ありがとう」の感謝の気持ちがあふれる学校づくりを進めます。
・学校行事・日々の活動・家庭との連携

【指標】
○「学校は楽しく安心できる場所である」と答える児童の割合：８５％、保護者の割合：８５％
○「みんなで仲良く助け合っている」と答える児童の割合：８５％
○「「ありがとう」をたくさん伝えている」と答える児童の割合：８５％

健康で明るい子【たくましく】

1　「６０プラスプロジェクト」を推進します。
・よりよい運動習慣・食習慣・生活習慣作り（家庭との連携）
2　児童の防災意識・危機対応能力の育成を図ります。
・避難訓練の実施
・防災教育（いきる・かかわる・そなえる）
3　適切なメディア利用について家庭との連携を図りながら指導を進めます。
・情報モラル学習、メディアコントロール（ゲーム、スマホ等）

【指標】
○「運動やスポーツをするのが好きだ」と答える児童の割合：９０％
○「生活リズムが整っている（早寝・早起き・朝ごはん）」と答える児童の割合：８５％、保護者の割合：８５％
○「安全に生活している」と答える児童の割合：８５％

家　庭　と　の　連　携

・のでから学習など、子どものチャレンジを応援しましょう
・子どもの話を聞きましょう【せかさず】【最後まで】

・思いやりのある、温かい言葉で対話することを心掛けましょう
・「ありがとう」を伝えましょう

・６０プラスプロジェクトに取り組みましょう（運動・食習慣・生活習慣）
・家庭でのメディア使用のルールを確認しましょう

○危機管理体制の確立と危機管理マニュアルの見直し　○生徒指導事案への迅速かつ組織的な対応、保護者との情報共有の徹底
○基本的学習態度の育成～学びへ向かうための「栗小スタイル」～　○少人数学級の利点を生かしたきめ細かな学習支援
○明るいあいさつ・返事、温かな言葉遣い

～安全・安心・安定を支える具体的取組～

地域との連携　①学校運営協議会　②地域資源・人材を活用した体験学習　③安全な登下校支援

我が家のまなびフェストは